



『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック1』

ポーポキ・ピース・プロジェクトのサポーターやYMCAのみなさまのお陰様でプロジェクトの方の本はなくなり、新たに注文しています。一方、本屋の方はまだまだ余裕があります。みんなでポーポキちゃんの平和を広めましょう！

最近の新聞報道

- ・ 中国子ども新聞 (英語) URL
- ・ 読売テレビ G+ (7. 24)
- ・ Global Issues in Language Education Newsletter July 2007
- ・ CATS 8月号
- ・ 『空』02 9月号
- ・ 大阪YWCA 8・9
- ・ 朝日新聞 (9.2)



多言語のポーポキ

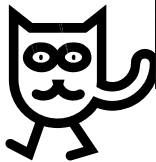
夏の活動にあわせて、『平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック1』は色々な言葉に翻訳されました。今のところ、下記のバージョンはでき、活用されています。

韓国語・中国語・タイ語・インドネシア語・テトウング語・クメール語・
ベンガリ語・スワヒリ語(予定)

皆様の活動に役に立つようであれば、一報ください。ワードファイルでお送りします。



グローバル・キッズ・キャンプ



紙芝居師 安野侑志さんのところへ遊びに行ってきました。



少し前の話になりますが、紙芝居師のYASSANに誘われて能勢へ行ってきました。自然が豊富に残っている場所で面白い話がいっぱいできました。ちなみにお会いした場所はTREEHOUSEという素敵な喫茶店。紙芝居の良さと可能性を少し理解できたと思います。そしてそれ以来はいろいろな形でポーポキの紙芝居バージョンを試みています。安野さんは、子どもたちと一緒に紙芝居をつくる活動もなっています。京都国際マンガミュージアムでも活動しています。ポーポキのファンになっていただきましたが、私も安野さんのファンになりました。みなさんもぜひ、紙芝居の可能性を探ってみてください！



“神戸海星病院”におけるワークショップ(8月31日)報告

桂木聡子

今回のワークショップの目的は、『豊かな感性を身につけるために』と言う依頼から始まったそうですが、勿論、平和の一端を担う施設である病院における『平和とは』の問いかけも行われました。

対象は病院職員(医師・看護師・薬剤師・検査技師・栄養士・事務等)。

8グループに分かれての最初の作業、平和にはどれが一番必要かという問いかけには、「いのち」「コミュニケーション」

「秩序」との答えが多く、その理由も、病院であるからには、患者の命が一番であり、そのためにはコミュニケーションが不可欠で、更に秩序に則った関係性が必要であるとの事。(それは病院であるからでしょうか?)

病院と言うところは、専門家集団の集まりです。

それぞれの部署が、責任を持った役割分担を担います。

患者中心の同心円上に、描かれたそれぞれの部署がお互いに連携を取る構図はよく見られますが、ここでも、それぞれの専門に境界があります。

しかし、今回のワークショップのグループは、全く自分の部署に関係なく決められ、色々な部署の方々に、そのグループに割り当てられた、病院の様々な空間の一つにおける「平和」



和」を感性豊かに表現するというワークでした。

また、後述の感想でも出ましたが、お絵かきなんて、幼稚園以来という数十年を逆行する楽しい作業に、普段の専門家としての顔はなく、部署を越えた和気藹々とし、生き生きとした作業風景に、講師も思わず驚きの目を見張っていました。

時間がない！ハサミがない！糊が、クレヨ

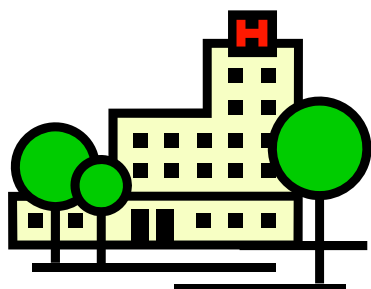
ンが・・・と賑々しく、カラフルに作られた制作物

<ナースセンター>には医療機器が無く、入院患者もいない状態が表現され、入りにくい<診察室>の扉を開けると、こどもの笑顔と、広い窓から太陽や空がのぞいており、愛のハートが飛んでいる。泣いている子供の手を引いて<薬局>に行くと、「平和の元」が0円で売られている。<ICU>では患者一人に一人の看護師が付く状態が描かれていました。



さて想像して下さい、こんな病院はいかがでしょう？行ってみたいですか？

違う角度から、同じものを見ると、こんなに変わるものかと言うことに、参加者自身が驚いており、また、ただ普通に講義を受けるのではなく、もう一人の主演、ポーポキが登場することで、場が和み、参加者の頭が柔らかくなり、こんなにみんなの顔に笑顔が見られることに、ワークショップに参加して、今回も感動しました。



今回の感想は、英語と日本語と一つずつです。

『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック1』を読みました(1)



Many thanks for "Popoki, What Color is Peace?" I adore reading it.

I went through the whole book, and thought it would be nice if I were still a student there so that I could write a lot of reflection papers on it. I like all the embedded themes and morals. I think the moral on page eight is one of the most vital recipes for peace. We can have a long lasting peace only when we have friends of different colors, learn to live with people of different colors, learn to agree to disagree with people of different colors, learn to understand people of different colors, and so forth.



For one more thing, of course, art and music are two main catalysts for peace. Through them, I believe we can learn to interact with and understand people of different colors, among many others.

Peace starts from an individual; and I strongly believe it starts with the peace in mind of each individual.

I really appreciate your Popoki Peace Project, and no doubt it will provide more and more individuals with insights and light to find and build peace and a peaceful society. May the project be a great success. And may lovely Popoki be in everyone's heart to guide human beings to peace.

And you are right. This book is intended for children. But if we know how to manipulate it, it is also appropriate for (under)graduate levels. I will use it with my students one way or another.

SOK Say, Senior Lecturer (Language Education)
English Department of the Institute of Foreign Languages,
Royal University of Phnom Penh

(Note: Sok Say is a graduate of GSICS, Kobe University. He has recently most generously complete the Khmer translation of Popoki's book. Thank you, Say!)

(ソク・サイさんは神戸大学大学院国際協力研究科の修了生です。彼は最近、ポーポキの本をクメール語に翻訳してくれました。サイさん、本当にありがとう！)



『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック1』 を読みました (2)

「ポーポキ通信」の21号をありがとうございました。

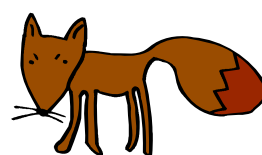
「ポーポキ、平和ってなに色？」を読ませていただきました。

日本で暮らしていると、毎日が平穏で”平和について”とか”平和って何？”なんてあんまり考えることがありません。それは本当に幸せなことだとは思いますが、これからも日本の平和を守っていく為に、また世界中で起きている色々なことに思いをめぐらし世界の平和に少しでも貢献するにはどうすればいいか？と考える為にもこの本はとても役に立ちますね。日本の平和と世界の平和が密接に繋がっていることもこの本は教えてくれます。



私の息子はボストンで生まれ、5歳までアメリカで育ちました。幼稚園ではいろいろな友達に囲まれて生活し、違っていることが当たり前前の環境を身をもって体験しました。皆と違っていることが自然に受け入れられる環境が”平和”であると本の中にありましたが、そのとおりですね。日本の社会はどうなのでしょう？人と違っていることを恐れる人が多いように感じます。

平和の色、匂い、味などあまり考えたことがなかったけれど、平穏な毎日を送っている者には何となくイメージすることが出来ます。でも、平和を味わったことのない人々には平和の色がイメージ出来ないかも知れない。日本の子供達には想像力を働かせて、”そういう人達もいるんだ”ということも考えながらこの絵本を読んでほしいと思いました。



村瀬 環

お知らせ～今後のポーポキが登場するイベントなど

- ・ 7.31-8.9 YMCA 青年ピースキャンプ（東ティモール）
- ・ 8.19-23 神戸 YMCA グローバル・キッズ・キャンプ（余島）
- ・ 8.31 神戸海星病院 ポーポキ・ピース・ワークショップ
- ・ 9.6-9.10 アジア太平洋 YMCA 第 17 回大会（チェンマイ）（セミナー、プレゼン）
- ・ 9.11 ラオスでプレゼン？
- ・ 9.17 東北アジアに平和を！「ピースフェスティバル 2007」
 - ポーポキのブースを出すので手伝いに来てね！
 - 日時：2007年9月17日（祝・月）10：00～18：00
 - 場所：神戸木材会館（神戸高速「新開地」西へ徒歩3分）
 - ◇ 第1部／10:00～12:00 映画「ディア ピョンヤン」上映
 - ◇ 第2部／12:20～15:40 東北アジアの民族舞踏上演・1人芝居・絵本の朗読
 - ◇ 第3部／16:00～18:00 映画「ディア ピョンヤン」上映
 - 参加協力券／1,000円（当日参加費1,500円）

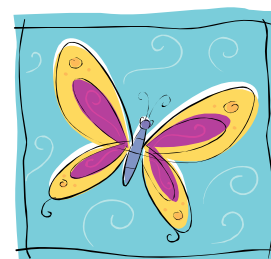
主催／東北アジアに平和を！ ピースフェスティバル実行委員会・後援／兵庫県国際交流協会・神戸国際協力交流センター・問合せ先／高橋 TEL090-3652-8652

- ・ 9.19 神戸 YMCA 東ティモール報告～東ティモールの青年たちと、ポーポキとの出会い～紛争の地で平和の根っこを見つめる～」19:30-20:30
- ・ 10.6 ポーポキ IN 新潟 「平和ってなんだろう？ ねこのポーポキと一緒に五感で平和を感じるワークショップ」時間は午後1:00～4:00、会場は、「クロスパルにいがた」という市の公共施設です。

<http://www.city.niigata.niigata.jp/info/crosspal/index.html>

- ・ 10.28 Peace as a Global Language（京都・立命館大学）

私にとってのポーポキ



私にとってポーポキとの出会いとは

家族とは違う、友達でもない、かといって全くの他人(猫)でもない。

初めは、ポーポキはただのネコでした。

それも、絵本の中で丸くなっているネコでした。

それがいつの頃からでしょう、ふと気がつくとそのそばにいてじっと見ていたり、かりかりひっかいたり、色々な表情を見せる知り合いになっていました。

楽しいことを考えたり、面白いことをすると、必ずキラキラと色が変わる、いたずらっ子の目をして僕も寄せろと寄ってきます。

逆にポーポキの顔が見えないと、今からしようとしていることが楽しくないことなんだろうか？平和ではないことなんだろうかと、考えてしまいます。

色々なことを考えたり、書いたり、発表したりする機会があるとき、どうしても自己満足に陥ったり、妥協してしまうことがありますが、ポーポキはそれを許してくれません。

とても厳しい観察者です。

私は今のこの関係が、とても好きです。

私にとってのポーポキとの出会いとは、新しい気づきを得るための機会だったと思います。

私は、この出会いをこれからも大切にしたいと思っています。

勿論、ポーポキに愛想を尽かされないように、私も頑張らなくちゃ。



かつらぎ さとこ

ポーポキ平和基金について

ポーポキ平和基金はこれからも活動の資金のためにご協力を呼びかけ続ける予定ですが、本の作成のための資金集めは、3月31日をもって、打ち切らせていただきました。ありがとうございました！



さらにご協力ください！

ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキのピース・ブック1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色?』についてのコメント、感想、追加注文などについては、popokipeace@yahoo.co.jpにお問い合わせください。

本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック

(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace@yahoo.co.jp



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口1500円。何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI !